

ユニット名 **いちよう**

今年度の目標及び方針:1日ひとつの疑問と学び

施設長	主査	作成UL

行動計画表

区分	項目番号	ねらい	手順	具体的行動計画(実践をするために何をするか)				実施結果と今後の展望	
				だれが	誰に対して	何を	どのように		
							いつまでに		
①個別ケアの基本について	1.老人福祉法第33条を理解してケアを行っている。	・ユニット型特別養護老人ホームとして目指すところを理解し、利用者の暮らしが継続したものとなるよう支援する。	説明 実行 評価 実行	UL UL・CW UL CW	SW・CW UL・CW CW CW	経営理念・第33条の理解の推進	平成31年度ユニット運営計画書について、この項目の説明を行う。 ユニット会議にて経営理念・第33条について意味を確認し理解する。 その月に発生した課題やトラブルを具体的な例として結果的に経営理念や第33条に沿った正しい行動は何なのか導きだす。 業務や会議など様々な場面において経営理念・第33条について考え、判断や行動に移し利用者・家族など信頼の向上に繋げる。	H31.4.30	
	5.法人理念や施設の方針は、わかりやすいもので職員に徹底している。	・経営理念の徹底により、経営理念を根拠に意識し、スタッフ各々が正しい判断を行ない地域信頼の向上に繋げる。	評価 説明	UL・CW UL・CW 施設長 SW	UL・CW CW UL・CW		経営理念・第33条に沿えなかった場合、なぜ沿えなかったのか確認する。経営理念・第33条の意味をもう一度確認し行動する。 再度ユニット会議にて経営理念・第33条について意味を確認し理解する。 発生した課題やトラブルに対して結果的に経営理念・第33条に沿った正しい行動は何なのか話し合い具体的な対策を決定し実行する。 ユニット会議の時間を活用して経営理念・第33条についてULが理念会の機会を作り、施設長や管理者が講師としてユニットを対象に理念会を実施、地域信頼の向上を図る。	H31.10.31	
	2.24時間シートを作成している。	・詳細な24時間シートの利便性の向上+介護業務の切り分けをすることで今後多くの顧客に対して個別の支援や機能訓練を提供し、質の維持・向上に繋げる。	説明 実行	UL CW SW・UL・CW CW 業者 CW	SW・CW CW SW・UL・CW CW SW・UL・CW CW	24Hシートを活用した支援の推進。	平成31年度ユニット運営計画書について、この項目の説明を行う。 利用者が利用している際や家族面会時、送迎時などの関わりの中で意向や好みなど24時間シートの内容がより詳細になるようロングショットを中心に情報収集を行う。 モニタリングでロングショットを中心に日々のリズムや状態の変化、意向、好みなど24時間シートの内容を詳細に更新する。機能訓練指導員による機能訓練内容を24時間シートに反映する。 毎月のユニット会議で介護業務の切り分けについて話し合い、職員一人一人の専門性を活かした役割や業務内容を明確にしていく。切り分けの中で機能訓練の状況をディスカッションする。 実際の業務で対象者の把握できていない箇所は24時間シートを確認し支援、機能訓練を実施する。 電子記録システムについて内容を説明し、24時間シートと連動した活用を行なうべく、電子記録システムを取り入れた際の新しい情報システム・活用方法を決定する。 実際の業務で活用し、トラブルや問題、課題をユニット会議にて議論し模索する。モニタリングに対して、電子記録システムを活用したより効率的なシステムに改善する。	H31.4ユニット会議 電子記録導入までに 電子記録導入時 H32.3.31	

行動計画表

区分	項目番号	ねらい	手順	具体的行動計画(実践をするために何をするか)				実施結果と今後の展望	
				だれが	誰に対して	何を	どのように		いつまでに
② 入居者が自分の住まいと考えるために	1.ホーム内での暮らしの場(プライベート・セミプライベート)と地域の場(パブリック・セミパブリック)の理解が進み、その設えもそれぞれに工夫がされ活用されている。	・ユニット費を活用し、顧客一人一人がそこで過ごしたいと思えるような個人の空間を作る。	説明	UL	SW・CW	ユニット費を活用した一人一人が落ち着いた過ごせる空間の実現。	平成31年度ユニット運営計画書について、この項目の説明を行う。 ユニット内でミーティングを行い、現状ユニットの利用者層の推移を基に、過ごしやすい環境を作るために何が不足して何が必要か、改善点は何かを話し合い結論をまとめる。 上記の結論をもとに起案書を作成、管理者へ提出する。 起案書を確認し、理事長や施設長等必要な部署へ回覧する。 起案が通り次第、家具を購入し配置する。 家具や備品によりトラブルが発生した場合はユニット会議で直ちに検討し改善する。 ユニット会議の時間を活用してユニットケアの設えについてULが勉強会の機会を作り、ユニットのCWが講師としてユニットを対象に勉強会を実施、ユニットケアの質の向上を図る。	H31.4.30	
			ミーティング	CW・UL	CW・UL				
			企画	UL・CW	SW			他部署	
			実行	CW・UL	CW・UL			UL・CW	
③ 入居者にそれぞれの暮らしを続ける	22.利用者が一斉に行う日課はなく、行事への参加は利用者一人ひとりの意思を確認している。また、興味のもてそうなものを勧めたりしている。	・ユニット費の活用+介護業務の切り分けを行いレクリエーションや外出などの選択肢を増やしてより個人が有意義に過ごすことができる。	説明	UL	SW・CW	ユニット費を活用した意向に沿った暮らしの実現	平成31年度ユニット運営計画書について、この項目の説明を行う。 区分①と同様の機会ユニット内でミーティングを行い、現状ユニットの利用者層の推移を基に、暮らしの充実性を目標に何が不足して何が必要か、改善点は何かを話し合い結論をまとめる。 毎月のユニット会議で介護業務の切り分けについて話し合い、職員一人一人の専門性を活かした役割や業務内容を明確にしていく。切り分けの中でレクリエーション実施状況や、利用者の意向に基づいた外出支援の計画を上記の結論をもとに記録を管理者へ報告、起案書を提出する。 起案書を確認し、理事長や施設長等必要な部署へ回覧する。 起案が通り次第、備品の購入または外出等の詳細な行動表を作成する。 備品に関するトラブルが発生した場合はユニット会議で直ちに検討し改善する。外出等行事後のユニット会議で反省会を実施し次回に活用する。	H31.4.30	
			ミーティング	CW・UL	CW・UL				
			企画	UL・CW	SW			他部署	
			実行	CW・UL	CW・UL			UL・CW	

行動計画表

区分	項目番号	ねらい	手順	具体的行動計画(実践をするために何をするか)				実施結果と今後の展望
				だれが	誰に対して	何を	どのように	
その他①	D.Free	・D.Freeを活用しパッド内での排尿回数を減らし、トイレでの排泄頻度を増やすことで羞恥心の軽減や心身共に気持ちよく過ごしてもらい尊厳を保持する。	説明	UL	SW・CW	排泄の改善によるADLの向上や尊厳の保持。	平成31年度ユニット運営計画書のこの項目について説明する。 D.Free導入時に使い方の説明等勉強会を行う。 ユニット会議にて対象者の決定後、日中はD.Freeを活用して排泄誘導を行う。排泄時のパッドへの尿量、トイレでの排尿の状態を記録し、状態に沿った排泄用品の選定を行う。 モニタリング時に排泄用品や支援方法について内容を決定し、24時間シートを更新、実行する。	H31.4.30 導入時 導入してから1回目のユニット会議時
			業者	UL・CW	SW・UL・CW UL・CW			
			実行	UL・CW	UL・CW			
			報告・実行	UL・CW	UL・CW			
発表	UL・CW	UL・CW	家族	在宅での生活に影響が出る場合もあるため実施前に家族・CMIに報告を行い実施する。	H32.3.31			
発表	UL・CW	UL・CW	家族	取り組みからの退所時等に対象者家族へ状況の推移や在宅ケアでのアドバイス等報告を行う。CMIに状況を報告する。	H32.3.31			
発表	UL・CW	UL・CW	家族	取り組みの状況をグリーンホームだよりへ掲載、研究大会発表など発信の場をつくる。				
その他②	インカム	・インカムを導入することで、スマートで円滑な連携を実現し、部署内の状況が把握できる。家族面会時や突発的な案件に対して早期に対応ができ、事故防止や地域信頼に繋げる。	説明	UL	SW・CW	インカムを活用したスマートで密な連携による現場の把握、早期対応。	平成31年度ユニット運営計画書のこの項目について説明する。 インカム導入時に使い方の説明等勉強会を行う。 インカム導入による情報伝達方法や、使用方法、注意事項など部署内で活用する際のルールを把握する。部署内・外で共有、統一する。 マニュアルに沿って業務で活用する。 使用時の問題点や、課題、顧客の反応、発生したトラブルに対してユニット会議で議論し改善策を決定する。インカムを活用している部署内・外に議事録を回覧、共有する。 上記の内容を踏まえ、再度業務内で活用していく。	H31.4.30 導入時 導入してから1回目のユニット会議時
			業者	UL	SW・UL・CW SW・UL			
			実行	UL・CW	UL・CW			
			評価	UL・CW	UL・CW			
実行	UL・CW	UL・CW			H32.3.31			